

Sagasokka!活用事例

東京学芸大学附属小金井小学校

【5年生／理科】

『Sagasokka!』の活用がまとめ課題のハードルを下げ、引用のルールに慣れるきっかけにも

東京学芸大学附属小金井小学校では、小学5年生の理科で学習する「台風と防災」の単元で『Sagasokka!』を活用しています。小林靖隆先生に、伺いました。



- ・所在地 東京都小金井市
- ・学年 5年生
- ・全児童数 約615名
- ・内容/用途 理科 台風と防災

5年生「台風と防災」単元に『Sagasokka!』を活用

授業のねらい・工夫


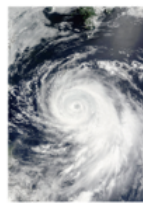
『Sagasokka!』導入により、より正確な情報を用いて調べる意味を伝えながら調べ学習を行い、単元のまとめとしてデジタルツールを使ったスライド作りを課しました。「調べた結果」には、『Sagasokka!』の文章や画像をコピー＆ペーストする方法をとり、調べたことを受けての考察をまとめとして盛り込むようにしました。

全体の構成や書式は、論文の書き方に準じています。著作権に関わることなので、引用には出典を明記し、その上で自分の意見を述べるような主従関係を明確にした文章作りが大切だと考えています。また、『Sagasokka!』のコピー＆ペーストは理科における問題解決の過程において、適切な結果記録の場面に利用できます。自分の言葉で調べたことを書き記すことでは、事実を飛躍して解釈まで行ってしまうと判断し、コピー＆ペーストを活用することにしました。

授業でやってみたこと

これまで「台風と防災」の単元では、気象庁の「アメダス（地域気象観測システム）」や東京都下水道局の「東京アメッシュ」などを活用した台風の動きやそれに伴う降水量や風量を調べる学習、書籍やインターネットで防災に関して調べる学習を行っていました。

今回は『Sagasokka!』を使った調べ学習を行い、単元のまとめとして、デジタルツールを使ったスライド作りを課しました。前述の「ねらい」のとおり、「調べた結果」には、『Sagasokka!』の文章や画像をコピー＆ペーストする方法をとり、調べたことを受けての考察をまとめとして盛り込むようにしました。

台風被害を防ぐために何が必要なのだろうか		5年1組	番
予想 社会の授業で、沖縄の建物は低くして、屋根も瓦が飛ばないようにしていると学習したので、風で飛ばされないような工夫が必要だと思う。	どんな対策が必要なのか ①防災情報の確認 災害が予測されるときは警戒レベルは大雨、台風などによる洪水や土砂災害、高潮などを対象とした、気象庁が発表する注意報の警戒レベル1・2、自治体が発令する警報の警戒レベル3・4・5の5段階がある。レベル3で高齢者・要介護者が、レベル4で全員が避難することで、人的被害を減らすことができる。レベル5は災害が発生している状況である。避難警報は防災無線、広報車、テレビ、ラジオ、インターネットで伝えられる。地震については緊急地震速報による報知音（ブザーなど）、文字表示が出されるので、数十秒の間身を守る行動をおこす必要がある。 『防災(ぼうさい)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧)		
調べた結果 そもそも台風とは... 北太平洋西部や南シナ海の熱帯の海上で発生し、日本、朝鮮半島、中国、フィリピンなどをおそう熱帯低気圧のうち、 風力8以上、すなわち風速が秒速17.2m以上のもの 。 『台風(たいふう)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧)	②普段からの意識を変える 地域の防災訓練に参加し、消火器やAED(人工体外式除細動器)の扱いを学んだり、自分が住んでいる地域のハザードマップや避難場所までのルートなどを確認するなど災害がおきるまえに、ふだんから防災について意識することが大切である。そうすることで、もし災害がおきた際に被害を最小限に抑える減災につながる。 『防災(ぼうさい)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧) どこが危険でどこが安全かをよく調べておき、いざというときの対応ができるようにする。		
どんな被害がある...? 気象災害のうちで、もっともはげしいのが台風による災害である。大被害をもたらす原因は、 暴風と大雨、高潮 であることが多い。 『台風(たいふう)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧)	過去の台風 2004(平成16)年9月の台風18号では、最大瞬間風速が広島で秒速60.2m、札幌で秒速50.2mなど、沖縄、九州、中国地方と北海道でこれまでの記録を更新する秒速50m以上の猛烈な風を観測した。また建物がおわたり、船が浅瀬に乗り上げたりするなどの被害が発生し、 40名以上の死者・行方不明者 をだした。 『台風(たいふう)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧) 他にも、2004年10月の台風23号では、降水量が四国地方や大分県で500mmをこえ、近畿地方北部や東海地方などでも300mmをこえた。平成30(2018)年7月豪雨は前線と台風7号の大雨が重なり、西日本を中心に 死者・行方不明者あわせて271名 という大きな被害をもたらした。 『台風(たいふう)』,総合百科事典ポプラディア (Sagasokka!) より、(2022-09-19 閲覧)	考察と感想 自分の予想は確かめられなかったけれど、台風とはどんなものなのか、今までどのような被害があったのかを調べることができました。また、台風の被害を防ぐためにどのような対策が必要か調べたけれど、国や地方自治体が行うべき対策だけでなく、自分の意識を変えることと自分が対策の一つであることを考えました。自分の命を守るために「これくらいなら問題ない」ではなく正しい情報をもとに判断できるようにしたいです。	
			

実際に児童から提出された、まとめのスライド

※『Sagasokka!』の項目本文をコピー＆ペーストすると、引用情報が自動的に挿入される

『Sagasokka!』を使ってみて

当初はまとめのスライド作りに関し活動量の多さを心配していましたが、『Sagasokka!』を活用したことで、子どもたちは私が考えていたよりも短時間でスライド作りを行うことができていました。

『Sagasokka!』の文章をコピー＆ペーストすると引用情報が自動的に挿入されるので便利な上、出典を明記するというルールに触れるきっかけにもなりました。

写真提供：東京学芸大学附属小金井小学校